

やすぎ スマイル

Jigebito

池田佳奈さん
菅野綾夏さん

モノ・コト

やすぎ映えスポット
推しのイッピン
放課後ダイアリー
うわさの市民SHOW
縁(えにし)

情報

特派員レポート
インスタ連動企画
イチオシ! イベント
編集室から
いいね! やすぎ
ピックアップ空き家バンク
リレーエッセイ

安来遺産

読者プレゼント



cover:

矢田醤油店の矢田さんファミリー

矢田大典さん、敦子さん、健くん、美和子ちゃん

安来市にある矢田醤油店は、大正9年の創業から百年続く老舗。ご主人の大典さんは東京都出身で、妻の敦子さんの実家である店を継ぐため2016年に1ターン。家族とともに地元で愛される醤油づくりを続けています。<撮影地:安来市中津町>

file no. 01 Jigebito

Q「安来就農スタートパック」とはどんな制度？

A イチゴの場合は、1年目はベテラン農家のもとで栽培研修、2年目はJAのハウスを借りて実践的な研修と、**未経験者の私でも安心して就農できるようなシステム**でした。Uターン者には生活面でのサポートもありますよ。

Q 移住する上での不安はありましたか？

A 友達もいない土地での暮らしはやはり不安もありました。でも大阪で経営していた居酒屋が、安来の食材や料理を取り扱う店だったので、市役所などに顔見知りも多かった。そういう点では良かったです。

Q 休みの日には何をして過ごしますか？

A 下の子が生まれる前は、長女と2人で、よく釣りに行きました。近くの飯梨川の下流でも釣れるんですよ。

Q これからUターンする人にメッセージをお願いします。

A みなさんも一緒にイチゴ農家やりましょう！



池田佳奈さん

イチゴ農家とカフェの経営。 この土地だからできる、新しい生き方。

安来市出身のご主人とともに、大阪からUターンした池田さん。二人のお子さんを育てながら、イチゴ農家とカフェの経営を切り盛りする池田さんにお話を伺いました。



①外壁に描かれたイチゴは、アーティストの友人に依頼したもの。田園風景の中でもパッと目を引く店舗に。②トラクター小屋だったとは思えない可愛い店内。親子連れや女子会でいつもにぎわっている。1Fには地元作家や佳奈さんのハンドメイドによるイチゴグッズも販売。③店の定休日にはイチゴ農家に変身。収穫できない時期も苗作りなど色々な作業があり、1年を通して忙しい。

大阪で感じた育児への不安が移住のきっかけに
山陰一のイチゴ生産量を誇る安来市。中でも特にイチゴ作りが盛んな赤江地区に、「イチゴ農家直営の話題のカフェ」、「莓やkirito」があります。農家直送の新鮮イチゴや、旬のフルーツを贅沢に使ったスイーツは、メディアやSNSを通して瞬く間に広まり、主要道路から離れた田園地帯にあるにもかかわらず、日々多くの人で賑わっています。

たそうですが、出産と育児をする中で、移住を真剣に考えるように。「大阪では仕事柄、夜間の保育所に子どもを預けていたけど、子育てをする上で色々不安要素が多かった」と話す佳奈さん。子育ては島根でしたいというご主人の意向もあり、移住を決意しました。

物件探しと、ゼロからの職探し
物件探しは安来市の定住窓口や不動産屋を通じ、大阪と島根を行き来しながら徹底的にリサーチ。「主人の実家から車で1時間圏内にある古民家という条件で探しました。1回の帰省で5件は見て、2〜3年がかりで50件近く見て回りました」と笑う佳奈さん。最終的に選んだのは、母屋のほか、納屋やトラクター小屋、農地がついた物件。母屋は屋根と畳を替え、あとは自分たちでリフォームしたそうです。

イチゴを広めるために始めたカフェ経営
就農に向けて2年間の研修を受ける中で、「安来市のイチゴをもっとたくさんの人に食べてほしい。もっと広めていきたい」と強く思った佳奈さん。採れたてのイチゴを使ったスイーツを提供したらどうかと思いつき、母屋に隣接していたトラクター小屋をオシャレに可愛らしいカフェにリノベーション。2020年3月のオープンから半年も経たないうちに、予約でいっぱい的人气店になりました。

移住して2年目には長男も誕生し、現在はご主人とお子さん2人の4人家族。イチゴ農家とカフェの経営、育児に家事と忙しい毎日を送っている佳奈さんに、来に来て良かったと思うことを聞くと、「一番はやっぱり子育てがしやすいこと。みんなが顔見知りって、子どもを守る上ですごい防犯でもある。田舎ならではのルールや人付き合いもあるけど、私はあえて飛び込んで行きました(笑)。不便なことも多いけど、仕事はたくさんあるし、可能性も無限大だなんて思います。」

莓や kirito 島根県安来市赤江町 762 ☎080-1644-0102
11:00~16:00(L.O.) 木・金・土・日曜日営業(農家繁忙期は不定休)
https://ichigoyakirito.amebaownd.com
ichigoya_kirito ご予約は前日19:00までにInstagramのDMへお願いします。

file no. 02 Jigebito

進学のため東京、都内ではフィットネスの仕事
 アメリカの日本庭園専門誌における「日本庭園ランキング」にて、17年連続で日本一の庭園に選ばれている安来市の足立美術館。四季折々美しい表情を見せる日本庭園と横山大観の作品で広く知られ、日々国内外から多くの人が訪れています。そんな世界に名高い美術館で、2018年から広報として働いているのが菅野綾夏さん。マスメディアの取材・撮影対応や、Webサイトの管理、SNSの発信が菅野さんの主な業務。「様々な質問や要望にできるだけ応えるため、毎日が勉強です」と笑顔で話す菅野さん。忙しい日々を送っています。

菅野さんは安来市の出身で、高校卒業後は大学進学のために上京。大学を卒業して就職した都内のフィットネスクラブでは、主に受付などの接客業務や、ヨガのインストラクターとして働いていました。島根へのUターンを考えたのは就職して5年ほど経った27歳の頃。「進学のために島根を出る時から、いつかは島根に戻りたいという思いがあった。将来を見据えて、家族の側で暮らしたいという気持ちもありました」と話します。そしてついに同期の人たちの転職などをきっかけに、島根に帰ることを決意しました。

就活の決定打となった「しまねおもてなし塾」
 帰郷にあたり、まずは職探し。東京の島根定住財団（しまね移住支援サテライト東京）に相談し、都内で開催されるUターンフェアなどにも積極的に足を運んだそうです。東京での経験を生かそうと接客関係の仕事を目指していた菅野さん、島根の観光地についても興味を湧かせてきたといい、観光業も視野に入れるように。「職探しをする中で島根のことを色々調べていたら、住んでいたところなのに、観光地や有名な場所のことを全然知らなかったことに気づいて。もっと色々知りたいって思ったんです」と話す。そんな時、島根定住財団から紹介された

のが「しまねおもてなし塾」の募集。「今私が求めていることにピッタリ。今後やりたいことを学べるかも。これはきつとご縁だ！」。そう感じたという菅野さんは参加を決めて、東京の会社を退職、島根へ帰郷しました。

世界に誇る美術館のPRを通し、地域活性のお手伝い
 しまねおもてなし塾とは、島根の観光産業を担う人材育成事業で、座学と職場研修を5カ月間で行うカリキュラム。そこで菅野さんは県内の様々な観光地をめぐり、フィールドワークなどを通して、現場の声や観光業の実情、接客などを学んだといいます。5カ月のカリキュラムのうち2カ月は現地研修で、

菅野さんは地元にある足立美術館に、就職を前提に研修を依頼。おもてなし塾が終了した2018年12月に正式に入職しました。現在は実家に暮らし、休みの日にはドライブや神社仏閣巡りを楽しんでるそう。「安来っていいところだな」と、地元で働くことで改めて感じたといいます。

「美しい庭園を毎日見ながら働けることは本当に幸せ。広報として自分を磨いて美術館のことをもっと知って、たくさんの人に伝えていきたい。そして安来を元気にしたいです」と笑顔で語る菅野さん。美術館のPRを通じて地元を盛り上げることで、ここに暮らす人たちが楽しんで過ごせるような地域づくりを目指し、菅野さんは今日も美術館の素晴らしさを世界に向けて伝えていきます。

Q 安来に帰ってきて良かったことは？
A 都会の喧騒から離れ、豊かな自然とか、野鳥や田んぼの四季など、昔は気づけなかった田舎の良さを見つけられました。

Q 足立美術館の四季で一番好きなのは？
A どの季節にも良さがありますが、私は夏の青空が好きです。それから雨の日は、庭石が濡れて黒く光るんです。芝の緑も水滴が付いている方が鮮やかに見えて、借景にも雲がかかって幻想的です。

Q これからUターンする人にメッセージをお願いします。
A Uターンは私の人生にとって大きな決断でした。後悔することもあるかもしれないけど、それを恐れたら動けないので、勇気を持って前向きにトライしてほしいです。



菅野 綾夏さん

東京からのUターンで、改めて感じた地元の良さ。

足立美術館の広報部に勤務し、国内外へ向けて美術館をPRしている菅野さん。以前は東京都内のフィットネスクラブに勤務していたといい、そこから安来市へUターンした経緯を伺いました。



①「庭園もまた一幅の絵画である」という創設者の信念のもと、館内の随所で、まるで絵画を見るように庭を鑑賞できる。②マスメディア対応などで、アテンド業務をすることも。③日本一の名にふさわしい見事な庭園。2020年4月には北大路魯山人のコレクションを展示した「魯山人館」もオープンした。

File 002 集まれコスプレヤー！
天馬城の割石(われいし)



アニメ「鬼滅の刃」で主人公が斬った石にそっくりな岩だと、最近話題になっている場所が安来市の天馬山の山麓にあります。山佐ダム近くにあるこの山にはかつて、山佐氏の山城「天馬城」が築かれていたと伝えられています。



山城とは鎌倉〜戦国時代、山に築かれた城。安来市では月山富田城跡が有名ですが、市内には約80もの山城があり、天馬城もそのひとつ。城跡がある天馬山は登山道が整備され、その道の近くの山中に巨岩「割石」が鎮座しています。直径は約5メートル。真ん中から真っ二つに割れています。しかも地元の人々の話では、数10年単位で見ると徐々に割れ目が開きつつあるのだとか。竈門炭治郎になりきれば素敵な写真が撮れること間違いなしのスポット。取材班も試しにポーズを取ってみました。山中は険しいためスニーカーなど登山の準備は十分にしていきましょう。(航)

●安来市広瀬町上山佐
山佐交流センターから徒歩圏内、登山道入り口から山頂(標高251m)まで約1キロ(のんびりコース)。
登山口までは安来ICから車で約30分
周辺の観光スポット：
山佐ダム体験交流施設やまびこ(10分)、嫁来い観音・婿来い地藏(10分)、蹄の滝(15分)、月山富田城跡(25分)
※()内は登山道入り口からの時間(車)

皆さんに
元気のもとを
届けます!



わたなべ牧場の
渡邊さん



File 002 創業時から変わらない味のヨーグルト

安来に住んでいたことのある人なら思わず「懐かしい!」と声が出てしまうのではないのでしょうか。パッケージのほのぼのとしたイラストもさることながら、生乳のような風味とほんのり感じる甘みが魅力です。この特徴を生み出すのが、素材の良さを引き出す製法。搾りたての生乳の風味を損なわないよう比較的低温でゆっくり殺菌しています。原料は自社飼育の乳牛から搾った生乳と砂糖のみ。乳化剤、合成着色料といった化学合成物質をいっさい使用しない、こだわりの無添加ヨーグルトです。また、ヨーグルトともに人気のあるのがプリン。安来産の卵を使ったプリンに、カラメルは三温糖のみを煮詰めて作られています。食べる直前にカラメルをかけるのもうれしい気配り。素材の味が伝わる優しいおいしさです。(由)

●有限会社わたなべ牧場 ●安来市伯太町日次463 ●0854-37-1581 ●9:00~18:00
◎元日(他不定休) ●安来市役所伯太庁舎から約4km、安来ICから車で約25分

やすぎ映えスポット

File 007 レトロでかわいい!
港町のシンボル赤灯台

鉄の積出港として発展した安来港。船乗りたちは三角形の十神山(標高92m)を目印に港へと船を進めてきました。この十神山が見守る安来港の入り口に通称「赤灯台」があります。意外と知られていないですが、正式名称は「安来港南防波堤灯台」。前回の東京オリンピックの2年前、1962年(昭和37年)に建設されて以来、半世紀にわたり港を見守ってきました。十神山を背景に、レトロ風のかわいらしい色合いとそのフォルムにカメラを向ければ、インスタ映え間違いなし。出雲国風土記には砥神嶋と記述されているように、かつては島だった十神山。地元の伝説では、神在月(10月)には八百万の神々が出雲大社に集う途中に十神山で休憩されるので、この時期には登ってはいけないとのこと。神様もこの山を目印にしているのでしょうか?(社)



●安来市安来町 ●安来駅から徒歩5分
周辺の観光スポット：
和鋼博物館(5分)、十神山なぎさ公園(キャンプ場:10分)、語臣猪麻呂の娘像(5分)、やすぎ懐古館一風亭(15分)、みさき親水公園(20分)、観光交流プラザ(5分)
※()内は赤灯台からの徒歩時間

推しのイッピン



夢いっぱい
スイーツの
お店です!



ママパティシエの佐伯さん

File 007 一期一会の気まぐれケーキ

国道9号から少し入ったJRの沿線にひととき目立つオレンジの外観。神戸や小樽の洋菓子店で修行した3児のママパティシエが地元安来市にUターンしてオープンした洋菓子店が「Yume sweets Atelier(ユメスイーツアトリエ)」です。店名は、店主のインスピレーションを発揮する場であり、来た人に雰囲気を含めて楽しんで欲しいとの思いから名付けられています。元気が湧いてくるような外観に加えて、内装もやわらかく温かな雰囲気。季節に合わせて装飾を変えるなど、遊び心や工夫にあふれ、まさにお店自体がアトリエです。店に並べられるスイーツもこだわり抜かれており、中でも地元産の素材を使い、その場のインスピレーションで作られた「気まぐれケーキ」は当日にメニューが決まるので訪れてからのお楽しみ。ぜひ来店して安来のおいしさを味わってください。(荒)

●ユメスイーツアトリエ(yume sweets Atelier) ●安来市黒井町741-7 ●0854-26-4343
◎【水~土】11:00~17:00 ◎月・火・日(オーダーケーキのみ受付) ●安来駅から約5分(1.2km)

縁～えにし～

おもてなしの最前線に立つ安来市の観光パーソンが安来の魅力を語ります。

こんにちは。埼玉県から安来市にトータンしてきた増田明美です。念のため、本名です。仕事の関係で訪れた安来の魅力に引き込まれ、いつの間にか定住。今年で15年目になります。仕事柄、安来節（唄・銭太鼓）をずっと習っており、最近ではステージに上がることもあります。普段はどじょうすくい踊りの衣装でお客さんへの応対をしています。この衣装がほとんど制服みたいなものです。ニックネームは「キュッキュウちゃん」です。（＝本物のドジョウがキュッキュウと鳴くことから）。

いつもは、安来節という文化に触れていますが、安来市には他にも魅力がいろいろありますよ。「田舎には何もない」との声をよく聞きますが、安来には自然豊かな風景やおいしい食べ物など、たくさんの魅力にあふれていることを日々感じています。皆さんも、ゆったりと流れる時間の中でのかな時間をご過ごしてみませんか？



安来演芸館の
案内人をお務め



安来節演芸館
 ● 島根県安来市古川町534
 ☎ 0854-28-9500/(fax)0854-28-9511
 ④ 大人800円、小人300円、団体(8名〜)600円
 ⑤ 10:00〜17:00 ⑥ 水曜日
 安来節公演は一日4回



うわさの市民SHOW

安来市の「あるある」を紹介するコーナー。故郷を語るキッカケになればと思っています。調査希望のネタがありましたら編集部へ情報をお寄せください。調査員が調べます。



元祖安来へのトータン者
 今、地方への関心が高まっています。そんなこともあって今回の「うわさ」はトータンにまつわる話です。
 2020年に放送中の大河ドラマ「麒麟がくる」の舞台は戦国時代。出雲地方では、安来市広瀬町の街を見下ろすようにそびえる標高190mの月山に富田城が築かれ、出雲地方の政治経済の中心地となっていました。この山城を拠点に中国地方11州を治めたのが戦国大名・尼子氏です。
 この尼子氏は近江の国（今の滋賀県）の出身。守護代として安来に派遣され、そのままこの地で戦国大名となり強大な力を持つようになりました。よほど安来を気に入ったのでしょうか。今で言う滋賀県⇩安来市へのトータンですね。
 残念ながら毛利氏との戦いに負け滅亡しましたが、安来では今でも大人気の尼子さんです。そして、我が家の先祖は尼子の関係者という人がたくさんいますよ。（善）

放課後ダイアリー

皆さんの心の中にある学校の景色。過ごした時代（とき）は違うとは言え、なんとなく感じる雰囲気は当時のままではないでしょうか。たまには、懐かしい瞬間を思い出してみませんか？ 現役の高校生に「これぞ青春だな〜」と思うショットを投稿してもらいました。

写真・文 安来高校2年 K.S



「みんなのパワー」
 全員おそろい。ウチらまち最強☆☆



「お弁当の後はひと休み」
 けっこう疲れた〜
 お昼ごはん食べて午後もがんばる



「ずっとなかよし」
 青空バックに仲良くハート！
 めっちゃ嬉しい♡やっとなりで撮れたー！
 ズッ友〜笑笑



「慣れ親しんだ廊下にて」
 何気なく過ごしている日常。こーいう場面とかも思い出になるのかな…でも、後で振り返ると「青春だったなあ」と思うこともあるかもしれない。ウチらKの全部がアオハルってことじゃんね！！

安来市内の学生の皆さんへ

このコーナーはOBの皆さんに懐かしさを感じていただき、故郷の今をお伝えしたいと企画しました。現役高校生や中学生の皆さん、コーナーに掲載する写真を募集しています。Instagramに「ハッシュタグ#安来市」「ハッシュタグ#やすぎ放課後ダイアリー」を付けて投稿ください。投稿写真の一部を本誌で紹介する予定です。（被写体等は投稿をもって同意いただいたとみなします）。

安来市公式 Instagramはこちら！



おしらせ

「やすぎスマイル」の紙面上で県外の家族・友人へ、故郷の家族・友人へのメッセージを募集しています。写真にメッセージを添えて応募ください。感謝の気持ちや、戻っておいでという呼びかけなども大歓迎。ペンネームも可。SNS時代にあえて紙面で伝えてみませんか？
 このコーナーは皆さんからの投稿の場として企画しています。
 採用された方には、ちょっとしたノベルティを差し上げます。

安来市定住政策課 やすぎスマイル係
 ✉ teiju@city.yasugi.shimane.jp

皆さんを応援します! 安来市の施策を特派員がレポート



今回は安来市の“縁結び対策”

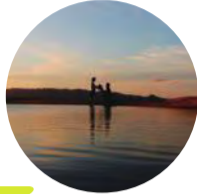
安来市では市民の皆さんの婚活を応援しています。
相談の受け付けからアドバイス、出会いの場の提供などのお手伝いをします。



お見合いイベントなど

安来市は市内の関係団体、あるいは近隣市町（松江市や米子市など）とともに、出会いの場を提供するイベントを開催していますよ。随時ホームページなどで紹介しています。

<https://www.city.yasugi.shimane.jp/kurashi/shushoku/others/>



アプリでお相手探し、結婚支援システム「しまこ」

タブレット端末で画面を見ながらお相手の情報を閲覧し、お引き合わせの申し込みをするマッチングシステム「しまこ」の運用を始めました!

- 閲覧日時：毎週木曜日9時から17時(最終受付は16時まで)
※結婚相談窓口の開設日時と同じです
- 閲覧場所：安来中央交流センター相談室(安来町896-1)
- 利用方法
「しまこ」の閲覧には会員登録が必要です。また、しまこのマイページから事前の来所予約が必要です。
- 問い合わせ：定住政策課 TEL0854-23-3179

【しまこのご利用方法】

有料会員制のマッチングシステムです。結婚を希望する独身男女が専用のタブレット端末上で自身のプロフィールを登録、お相手の情報を閲覧し、会いたい人を選んで引き合わせの申し込みを行います。お引き合わせの際には、縁結びボランティア(サポーター)が同席します。とっとり出会いサポートセンターで実施している「えんトリー」とも連携しているので、希望者は鳥取県の方とも出会うことができます。

一般社団法人しまね縁結びサポートセンター(松江センター)
TEL 0852-61-1150
〒690-0887 島根県松江市殿町8-3 タウンプラザしまね2F
平日(月・木・金曜)および休日(土・日曜)の9:00~17:00
公式サイト:しまね縁結びサポートセンター
「しまこご利用の流れ・入会申込」
<https://www.shimane-enmusubi.com/shima-co/nagare.html>



縁結びの第一歩、結婚相談窓口

結婚を希望する方やそのご家族などを対象に結婚相談窓口を設けています。結婚支援相談員による相談のほか、専門機関やサービスの紹介、イベントなどの情報提供をしていますよ。

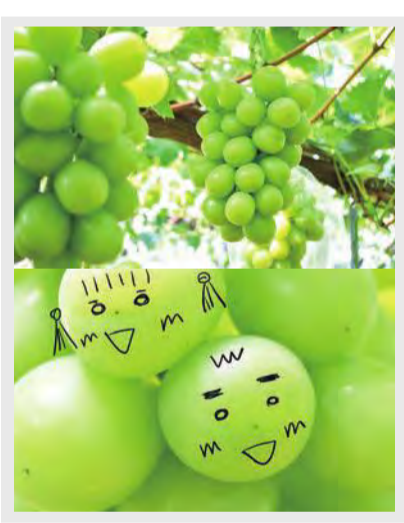
- 相談日時：毎週木曜日9時から17時(最終受付は16時まで)
※事前予約制。
- 相談場所：安来中央交流センター相談室(安来町896-1)
- 対象：結婚を希望する20歳以上の独身で、安来市に在住または勤務、将来安来市に移住の意思や予定のある方。子どもや身近な方の結婚を望む、安来市内に在住する親等(概ね三親等以内)
- 問い合わせ：定住政策課 TEL0854-23-3179
<https://www.city.yasugi.shimane.jp/kurashi/shushoku/others/kekonsoudan.html>



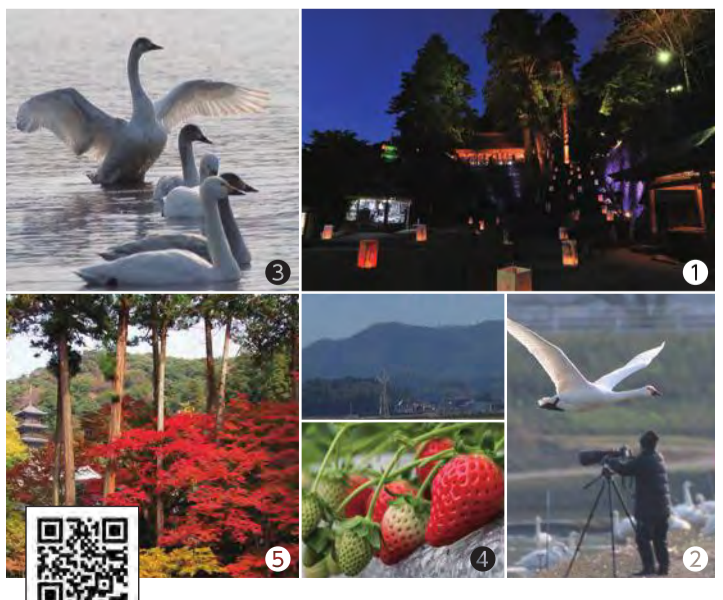
- 日程：毎月第2日曜日 10時~12時
- 会場：カフェ・ローチ(黒井田町 327-5)
- 対象：真剣に結婚を望む独身の20歳以上で、次の方が対象です。島根県内にお住まいの方。島根県内にお勤めの方。将来、島根県に移住の意思や予定のある方。
- 予約・相談料：予約不要、無料
- 問い合わせ先：定住政策課 TEL0854-23-3179
- 詳しくは、安来はぴこ会ブログ(外部サイト)をご覧ください。
<https://yasugi-hapyco.blogspot.com/>



- ◆期間：2020年11月1日~2021年1月31日
- ◆ハッシュタグ：#フォトコレやすぎ
- ◆応募方法：安来市の公式アカウントをフォローし、「#フォトコレやすぎ」と付けてInstagramに投稿
- ◆プレゼント：抽選で安来市の特産品を3名様に差し上げます
- ◆公式アカウント：@yasugi_official



インスタ運動企画
フォトコレやすぎ
YASUGI PHOTO COLLECTION
安来市に関するコトや思い出をInstagramに投稿ください。ヒト、風景、食べ物など、あなたの感じる安来市をみんなで共有しませんか。



- ### イチ押し! イベント・風物詩
- 10月24・25日：安来清水寺灯参道
古刹の夜をライトアップします。①
 - 10月下旬~12月上旬：みかん狩り
山陰地方で珍しいフルーツ狩りです。
 - 11月中旬~12月上旬：紅葉(清水寺・足立美術館)
寒暖差が大きくなる頃、色づき始めます。⑤
 - 11月下旬~3月上旬：能義平野のハクチョウ
毎年、千数百羽が飛来します。②③
 - 12月25日：母里市・やまなば祭
江戸時代から続く伝統のお祭り。
 - 1月1日：月山富田城から眺める日の出が最近話題に。
日本一の山城から眺める日の出が最近話題に。
正月：初詣(清水寺ほか)
毎年、多くの人出で賑わいます。
 - 2月~5月：イチゴの販売
安来市は県内最大のイチゴの産地です。④
 - 3月上旬：やすぎのいちご祭り
道の駅あらエッサで開催される
イチゴづくしのイベント。
イチゴ狩りもあります。
 - 3月下旬：安来公園桜まつり、ひろせ桜まつり
数百年ものソメイヨシノが咲き乱れます。
※各イベントはコロナ禍の影響で変更になる場合があります。



イベント情報は安来市観光協会のホームページで!

いいね! やすぎ

「麒麟」と言えば。

2020年の大河ドラマは「麒麟がくる」。明智光秀が主人公の戦国時代が舞台のドラマです。今、安来市ではこの「麒麟」という言葉が話題になっています。ドラマと同じ時期、山陰地方では麒麟児と呼ばれた武将が活躍しています。月山富田城を居城に中国地方を治めた戦国大名尼子氏の家臣・山中鹿介幸盛です。不撓不屈の精神で主家尼子氏の再興戦を繰り広げ、「願わくは我に七難八苦を与え給え」と三日月に祈ったエピソードでも知られています。

彼の活躍を江戸後期の学者・頼山陽が漢詩に詠んでいます。

題「山中幸盛(鹿介)」(略) 嶽嶽驍名誰喚鹿 虎狼世界見麒麟

鹿介は武勇で名高いが、どうして鹿と呼べようか。虎や狼のうろつく戦国の世に生きた麒麟である。

ここから鹿介は「山陰の麒麟児」と称され、今日に至っています。

明智光秀と同時代を駆け抜けたもう一人の「麒麟がいた」のが安来市です。



山中鹿介幸盛：戦国大名尼子家の家臣。尼子氏が衰亡していく中、最後まで主君に忠義を尽くし尼子氏再興のため戦い続けました。その精神を称え、祈月像が富田城内に建立されています。また、鹿介の兜はニッカウスキーの紋章にデザインされています。



ピックアップ空き家バンク

安来市では利用しなくなった空き家を市に登録し、お住まいを探している方にその物件を紹介する「空き家バンク」制度があります。このコーナーではおススメの登録物件を随時紹介します。安来市定住支援サイト「やすぎぐらし」に他の物件情報も掲載されていますのでご覧ください。詳細がお知りになりたい場合は事前に「空き家バンク利用登録」が必要です。

☐ 空き家バンク検索 <https://yasugi-gurashi.jp/article/>



物件紹介 / 物件番号No.26



安来市荒島町の町中にある木造平屋建て。売却希望の物件です。空き家となったのは平成27年頃で、その後賃貸として貸し出されていましたが、現在は再び空き家となっています。間取りは3DKで水回りも整理されていますが、一部修繕が必要です。駐車場はありません。

RELAY ESSAY

リレーエッセイ



野口明美さん
職業 美容師 大阪在住

「地元ならではの」は 今も大切に

中学生での職場体験をした時の話。物心ついた時から美容師になるのが夢で、駅前の美容室で職場体験をさせていただいた。スタッフの皆さんが優しく、丁寧に、そして家族のように接してくださった。都会では体験できないようなパーマ巻きの手伝いをはじめ、知り合いのお客さまがいた時には、話し相手をさせてもらったことも覚えている。職場体験の数日間。とても魅力的で刺激になった時間だった。それから一夏休みなどに少しだけお手伝いをさせていただいたのは、ホントに良い経験になった。自分が美容師になった今、その時の地元で教えていただいた心遣いや接し方は、大切な基本として心がけている。今では憧れていた美容師になることができ、当時、職場体験させていただいたスタッフの方や周りの方に感謝している。

編集室から

皆さんとの関係を大切にしていきたい。
そんな思いから発行しています。

新たに発行した安来市シティプロモーション情報誌「やすぎスマイル」はいかがでしたか？市外に住む安来市にゆかりのある方、この街が気に入って何回も訪れてくださる方、来たことはないけど一度は来てみたい方…。故郷の今をお届けし、皆さんとの関係を保ちたいとの思いから発行しました。いつか安来に戻ってくる、再び訪れてみるというキッカケになれば幸いです。「やすぎスマイル」は春夏・秋冬号の年2回の発行を予定しています。SNSの時代ですが、紙面から安来市の温もりや香りをお伝えしたいと思い、紙媒体による発行としています。



◎感想をお寄せください

創刊したばかりの本誌。皆さんとともに紙面を充実させていきたいと考えています。お読みいただいた感想などをお寄せください。また、連載や特集企画などのアイデア、こんなこと知りたい・今どうなっているのなど調査依頼などをお寄せください。(感想などは紙面上で紹介させていただきます。実名掲載の可否をお知らせください)

ご感想などは

Mail: teiju@city.yasugi.shimane.jp

または、安来市定住 FB「安来市定住サポートセンター」へ

◎[市外限定] やすぎスマイルを送ります

「やすぎスマイル」は市外の方に限り無料で定期送付します。ご希望の方は下記のメール宛に郵便番号・住所・氏名・安来とのご関係(出身者・縁故者・興味あり)をお知らせください。安来にお住まいの方で、県外にお住いのお子さんやお知り合いの方などに送って差し上げたい場合は、その方の郵便番号・住所・氏名・安来とのご関係をお知らせください。

やすぎスマイル定期送付係

Mail: teiju@city.yasugi.shimane.jp

※件名に「定期送付希望」とお書きください

または次のフォームから→



安来市の観光・定住のことなら



安来観光ガイド



定住支援サイト
やすぎぐらし



安来市への応援をお願いします

ふるさとチョイス



楽天ふるさと納税



ふるなび



三越伊勢丹
ふるさと納税





安来のウユニ塩湖（飯梨川河口）

空気が澄んだ無風の瞬間（とき）、中海に注ぐ飯梨川の河口は水鏡のようになります。雲や島根半島のシルエットを写すシンメトリーな光景は、南米のウユニ塩湖を思い起こさせます。この光景を創り出すのは日本遺産に認定されている「たたら」製鉄の影響。鉄穴流しによって砂鉄を採取するときに発生する土砂が堆積した河床だからです。川の流れと中海の波が河口付近に巨大な水溜りを形づくり、風の無い日には巨大な水鏡となります。



編集後記

▼たくさんのやすぎの「とっておき」をお届けできるようにこれからも頑張ります（ゆ）▼安来高校の生徒にお願いして撮影してもらった「放課後ダイアリー」。卒業生の皆さんに、故郷の懐かしさを感じていただけたらうれしいです（つ）▼『やすぎスマイル』をお読みいただきありがとうございます。今回の記事を通じて、安来との繋がりを少しでも感じていただければ幸いです（荒）▼まちの魅力を発信すること。これも私たちの仕事の一つです。この冊子は発信するだけでなく、読者の方と相互に関わっていくこともテーマにしています。投稿コーナーも設けていますので、ぜひご応募ください（旬）▼撮影のために、埃を被っていた登山靴を引っ張り出しました。標高250mとはいえ、さすがの山道でいい運動になりました（航）▼記事を書くために、安来の魅力的な場所を探しましたが、住んでいても知らないことが多く、安来の底知れなさを改めて感じました（社）▼安来のためなら！と取材に応じてくださった皆さんに感謝です（の）▼記事を書くためにインタビューを行うのは初めての経験。でも、相手が慣れておられたので助かりました…（越）▼原稿依頼のために久しぶりに同級生と連絡を。学生当時はまったく知らなかったエピソードを聞くことができ、なんだか感慨深いものがありました（杉）

読者プレゼントクイズ

「やすぎスマイル」創刊号では「たたら製鉄」という単語が何回か登場しました。この日本古来の製鉄技術でしか製造できない日本刀の材料にもなる素材はなんと呼ばれるのでしょうか？正解はカタカナで3文字です。

ヒント

アニメ化、舞台化もされ子どもから大人までたくさんの人が夢中になっている大人気漫画「鬼滅の刃」。主人公竈門炭治郎の日輪刀の原料にもなりました。

応募方法

安来市公式インスタグラムをフォローし、DMにて解答を送って応募ください。抽選で1名様に安来市の特産品をプレゼントします。当選した方には個別に連絡します。

📷公式アカウント: @yasugi_official

📅応募メ切 2021年1月31日(日)



📺 Lillieさんのハーブティー (プレゼントはティーのみです)

